

「三河と伊勢の海—古墳時代の海道を往還する—」

開催要項

【開催趣旨】

三河と伊勢は古来から海を挟んで関わりが深く、海上交通、遠隔地間交流、生産、信仰等、「海」との関わりを抜きにして語るができない古墳、集落、生産遺跡、祭祀遺跡の宝庫である。これらの古墳、遺跡の歴史的な価値を再認識し、内外に発信することを目的とする。

【日時】平成29年 3月11日（土） 10時から17時：研究集会
3月12日（日） 8時または8時30分から：見学会

【会場】豊橋市民センター（カリオンビル） 〒440-0897 豊橋市松葉町2丁目63
電話（0532）56-5141 <http://www.city.toyohashi.lg.jp/8653.htm>
※豊橋駅東口より徒歩5分程度

【参加費】資料代2,000円程度の予定（懇親会は別途5,000円程度）

【日程】

(1) 研究集会（11日）※報告タイトルは仮題

- 9:30 受付開始
- 10:00～10:20 開会挨拶・趣旨説明 早野浩二（愛知県埋蔵文化財センター）
- 10:20～10:50 研究発表1 「三河・伊勢の海と正法寺古墳」三田敦司（西尾市教育委員会）
- 10:50～11:30 研究発表2 「おじょか古墳の再検討」
宮原佑治（斎宮歴史博物館）・三好元樹（志摩市教育委員会）
- 11:30～12:00 研究発表3 「伊勢と三河における横穴式石室の社会性」
高松雅文（三重県埋蔵文化財センター）
- 12:00～13:00 （昼食休憩）
- 13:00～13:30 研究発表4 「三河湾三島の古墳」西島庸介（安城市教育委員会）
- 13:30～14:00 研究発表5 「牟呂遺跡群の歴史的動態」岩原 剛（豊橋市文化財センター）
- 14:00～14:30 研究発表6 「知多・渥美の土器製塩とその特質」
早野浩二（愛知県埋蔵文化財センター）
- 14:30～14:45 （休憩）
- 14:45～15:30 基調報告 「古墳時代の海洋祭祀」穂積裕昌（斎宮歴史博物館）
- 15:30～15:40 （休憩）
- 15:40～16:50 討議 三田・宮原・三好・高松・西島・岩原・早野・穂積
司会：森 泰通（豊田市教育委員会）
- 16:50～17:00 閉会挨拶 森本 徹（大阪府立近つ飛鳥博物館・海の古墳を考える会会長）

(2) 懇親会 (11日)

6:00 豊橋駅前周辺を予定

(3) 見学会 (12日) ※乗り合い等で移動・昼食実費

[Aコース] (佐久島の古墳と製塩遺跡の見学)

8:00 豊橋駅集合→9:30 一色港→佐久島古墳群 (昼食) →3:30 一色港→4:30 三河安城駅解散

[Bコース] (吉良と幡豆の古墳の見学)

8:30 豊橋駅集合→とうてい山古墳→中之郷古墳→正法寺古墳→西尾市吉良歴史民俗資料館→12:00 三河安城駅解散

[荒天時] 豊橋市美術博物館・蒲郡市博物館→とうてい山古墳・中之郷古墳・正法寺古墳→西尾市幡豆・吉良歴史民俗資料館の行程に変更

【紙上報告・調査報告】 ※報告タイトルは仮題

紙上報告1 「常総型石枕について」西島庸介 (安城市教育委員会)

紙上報告2 「太平洋沿岸における横穴式石室の伝播」小林孝秀 (松戸市立博物館)

紙上報告3 「日間賀島の古墳と漁労具」内田律雄 (島根県埋蔵文化財調査センター)

紙上報告4 「北地古墳群と山崎古墳の須恵器」大西 遼 (愛知県陶磁美術館) ・
中川 永 (豊橋市文化財センター) ・尾崎綾亮 (愛知県埋蔵文化財調査センター)

紙上報告5 「脚付短頸壺と岸岡山窯」渡辺和仁 (三重県埋蔵文化財センター)

紙上報告6 「伊勢湾沿岸における古墳時代後期の関東系土師器」渥美賢吾 (株式会社フジヤマ)

調査報告1 「武豊町山崎古墳の研究」海の古墳を考えるVI実行委員会

調査報告2 「西の浜遺跡群と八幡上遺跡の調査概要」清水俊輝 (田原市教育委員会)

【開催体制】 主催：学術研究集会「海の古墳を考えるVI」実行委員会・海の古墳を考える会
共催：豊橋市教育委員会
後援：西尾市教育委員会

【参加申し込み】

(1) 期 限 平成29年2月17日 (金)

(2) 申し込み先 氏名、性別、所属、メールアドレス、懇親会への参加の有無、見学会への参加の有無と希望コースをご記入の上、下記までメールでお申し込みください。なお、宿の手配は各自でお願いいたします。

実行委員会 早野浩二 hayano@maibun.com